五十嵐小学校区 コミ協だより

砂丘

第５号

発　行　五十嵐小学校区コミュニティ協議会
発行人　小林　勇
編　集　事務局
新潟市西区上新栄町 4-5-68
Tel. 025-260-6600
e-mail : ikarashi-komikyou-ji@onyx.ocn.ne.jp

花いっぱい運動

平成21年9月25日(金) 4自治会の協力を得て実施されました。ご協力ありがとうございました。

五十嵐1の町自治会　清水　祐子

花植に参加させて頂きました。沢山の方々が参加して下さり、段取り良く植え終える事が出来ました。花の水やり、国体が終わってからのプランター撤去と色々忙しい思いもしましたが、国体に少しでも携わる事が出来良かったと思いました。

寺尾上町自治会　阿部　春子

“花いっぱい運動”に役員、ボランティア12名で参加しました。市の職員さんの説明で始まり皆さんも手際よくチームを作りあっと云う間にプランターはサルビア、ベコニア等が咲き、行き交う人の目と心を和ませてくれたことでしょうﾈ。私もお手伝いすることが出来ました。ありがとうございました。

清心町自治会　騰川　登志子

45年ぶりに本県で行われた新潟国体。その日にそなえコスポまでの道沿いに200鉢のプランターが並べられました。ベコニア、日々草など4種類の花が、新潟県勢はじめ各県の選手を花で応援しようと全員の気持ちが一つとなり、皆汗を流し花植えを完成させました。咲きほこった花は県民の声を届けんとばかりに役目を終えました。県民勢の活躍にバンザイ!!

東五十嵐自治会　星野　洋一

“花いっぱい運動”にコミ協を通して近隣4自治会が参加し、8株×200鉢を植え、歩道に並べました。曇天続きで心配した水やりは助かりました。国体後は引取先の家々で咲いてくれました。

トピックス

「皆で西区役所の整備について考えよう!!」

街づくり部会　部会長　寺山　和雄

各区の区役所整備については、市の区役所整備検討委員会で、平成20年10月に市長に報告書が提出されています。市長の発言により順次整備を進めたいとの方針が伝えられておりますが、整備の順番は、東区→西区といわれています。

東区については、スーパー跡地での設置が決まり、西区の区役所整備もその次として議論の対象になってきております。西区自治協議会においても、議論を進めるその大前提として、地域住民の意見をお聞きし、《自治会》→《コミ協》→《区自治協議会》と議論を詰めて行く事を大切にしております。市政に皆の意志を反映するためにこのルートができているのですから、是非この機会に自治会を基盤として皆様の意見を交して頂き、市長の判断に供しませんか？皆で街を作るために!!

尚、参考資料等はコミ協で用意しております。必要でしたら説明も致します。

ただいま、各部会活動中!!

人づくり部会 ～地域づくりは人づくり～

部会長　松瀬　義元

「人づくり」とは、災害から身を護るにせよ、人生を楽しむにせよ、他人との関わりなしでは私たちは何もなし得ない。「人との関わり」を、意気の合う親しく強いものにするための活動が「人づくり」だ。「安心安全部会との連携」安心安全な地域づくりは、地域のとりわけ子どもたちにとって大切である。「福祉部会との連携」高齢者と子どもたちが交流し、親しみ学ぶ場を設ける。住民の地域力の基盤と言える。「交通安全部会との連携」子どもたちは交通弱者であり、その安全を確保する活動を、子どもたちと共にする。大人も子どもも、地域づくりの活動にすすんで参加する人になってほしい。そうならせよう、これが「人づくり部会」の役割だ。

安心安全部会 ～災害がおきたら～

部会長　西田　勝正

防災、防犯等地域の安心安全に係る活動を行っています。いつ起こってもおかしくない地震に日頃から考えておきたいものです。中越地震のような大地震がおきた場合、住居が倒壊し、ライフラインが破壊されたらどうしますか。地域全体が生活できない状況となるのです。地震が起きた場合のことを考えてどのように避難をし、安全を確保出来るかを各自治会単位で考えていただきたいのです。部会では、自治会単位の自主防災組織の結成を進めております。また、地域の防犯パトロールを推進しています。安心で安全なまちづくりのために、皆様の活動にお役に立てるよう努力いたしますので、いつでもお声をかけてください。お待ちしております。

交通安全部会 ～通学路は危険がいっぱい～

部会幹事　木星　明子

来春の寺尾～亀貝線の完成に伴う通学路及び立哨箇所の見直しに取り組んでいます。

全23自治会に宛て実施した。「通学路に関するアンケート調査」では、19自治会から返信があり、それらをまとめた結果“地域による交通安全や立哨に対する捉え方の違い”根本的な道路問題（歩道の無いまま通学路となっている402号線）など幾つかの問題点が、浮上しました。

今後は小学校とも連携し、現地踏査の実施等、具体的な見直しに向けた活動を予定しています。

福祉部会 ～若さもりもり元気塾～

部会幹事　渡辺　ハルイ

昨年度好評であった「認知症の話」本年度再企画。危険因子は誰にもあります。家族が前駆症状を振り返り見逃さないようにしましょう。若い人にも聞いて欲しい“若さもりもり元気塾”今回は新潟大学大学院生佐藤由太先生、伊藤由紀両先生が若さあふれる実技と講話を分担し、クイズやゲームでアーラ不思議こちらも若返りました!! 健康福祉課保健師さんと再三打ち合わせを行い、アドバイスを頂きました。推進委員の皆さんに見守られていい顔、いい汗で盛り上がった元気塾でした。新年度には高齢者と児童の交流できる居場所づくりを計画中です。

街づくり部会 ～降雪期、除雪はどうなる？～

部会長　寺山　和雄

当コミ協で独自に進めていた”私たちの街のデジタル記録によるコミ協地図”の編集が完成いたしました。この地図を利用して、例えば、商店の職種別現況・災害時の避難可能な場所等々、私たちの生活に必要な表示が可能となります。その為に、街の現況調査を行いたいと思っています。また、この地図を活用していきたいと考えておりますので、皆様より活用方法のアイデアを募集いたします。

さて、これから降雪期を迎えますが、当コミ協内の生活道路は、自治会による除雪が必要な箇所が多くあります。しかし昨年同様、除雪をお願いできる業者さんが居られない現状があります。今年もこの問題の解決策を図るべく活動しています。

また”西区役所整備問題”について皆様のご意見を承る集会に、検討資料などの説明のお手伝いをする予定です。

自治会の紹介

寺尾中町自治会

ふれあい高齢者の集い

寺尾中町自治会　会長　丸山　三郎

寺尾中町自治会は、世帯数106、総人口269名と小規模な自治会です。地域内には、西区社会福祉協議会や五十嵐コミュニティハウスの公共施設が所在しています。当自治会は高齢化が著しく、65歳以上の高齢化率は38.2％にも達しています。そこで当面の課題は、もしもの災害に備える対策です。色々と検討の結果、自主防災組織が最も急務な課題と判断し、現在新年度組織化に向け準備を進めております。

また、自治会では、隣近所と普段の交流が最も大切であること、このことが万一の災害時、避難誘導救済に役立つものと考え、お互いの交流を深める場を提供するため、昨年度より「ふれあい高齢者の集い」を企画実施しました。今年度も10月18日（日曜日）五十嵐コミュニティハウス多目的ホールを使い、70歳以上の高齢者29名が集まりました。集いでは講師先生の特別講演を聴き、給食を楽しみ・午後からは手作りゲームで遊び・歌を歌い、民謡を鑑賞して有意義なふれあい交流の場となりました。写真は、集いの一場面です。

閑話休題

日溜まりの中で

今部　秀陽

夏には木暗く繁っていた飯豊山麓のブナの森は、もうすっかり葉を落とし地面は落ち葉に埋めつくされ、立木が銀ねずに煙り、カラリと明るくなり、落ち着いたたたずまいを見せている。

いつものように、渓流のほとりで沢水を沸かし、霜枯れた四方の山を眺めながら煎茶を飲み、ビールが冷えるのを待つ。この時季は山行く者の姿もなく、あたりは深沈として、聞こえる音といえば、枝移りをしている小鳥のさえずりと勢いをなくした渓声だけだ。

小春日和の中で、冷え切ったビールを飲みながら、森の奥に新雪を戴いて輝いている山稜を仰ぎ、かつて何度も歩いた遠い日の山旅の追憶に浸っていた。ふと、脇に置いた茶碗を見ると、黒スズメバチがその縁にとまって、何と中のビールをすすっているではないか。様子を見ていると、間もなくヨタヨタと千鳥足で歩きはじめた。「蜂もわれらと同じ酒好きだ」と、その滑稽なしぐさに同行のAさんと大笑いした。この愉快な仲間を交えて、しばし、日溜まりの宴を楽しんだ。山を歩いていると、楽しいことに出合ったり、新しい発見があったりする。今日も自然界の小さな生き物の営みを見、深山の静寂を聞くことができたことを友と喜び、落ち葉を踏んで山を後にした。

編集後記

師走、渡り鳥が長い旅を終えて湖面に羽を休めていました。

今号より”閑話休題”と題して、会員の方々の投稿文を掲載させて頂く事になりました。無駄話もよし、本音もよし、何でも思いつくまま気楽に投稿して頂ければ幸いです。今号も多くの方々からご協力を頂きありがとうございました。来年も又、皆様にとって良き年で在りますように。

（事務局　阿部）